

令和4年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	佐世保市立日野小学校		作成者	職名	教頭
電話番号	0956-28-4371			氏名	塚原 浩一
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	○何でも話し合える働きやすい職場づくりの構築。 <プラス1運動> ○安全運転への取組交通事故の根絶。 <安全運転> ○体罰の禁止 ○情報セキュリティ対策の徹底			
<u>取組の評価・改善点</u> ○何でも話し合える働きやすい職場づくりの構築 <ul style="list-style-type: none"> ・学年主任会を活用した情報共有の効率化 ・管理職員、職員同士の会話の促進と、報告、連絡、相談等を行いやすい雰囲気醸成 ○安全運転への取組交通事故の根絶 <ul style="list-style-type: none"> ・懇親会等飲酒の機会の厳選化 ・我が身に引き寄せる飲酒による不祥事事例 ○体罰の禁止 <ul style="list-style-type: none"> ・体罰及び、不適切指導や暴言についての継続した指導の実施 ・廊下を通る誰もが教室内をうかがうことができる風通しの良い教室環境の推進 ○情報セキュリティ対策の徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・佐世保市セキュリティーポリシーの周知 ・公用USBメモリ以外の電子記録媒体の使用禁止 					
7月	実施テーマ	同上			
<u>取組の評価・改善点</u> ・わいせつ行為の防止（チェックリストの活用） 以下4月と同じ					
12月	実施テーマ	同上			
<u>取組の評価・改善点</u> ・公用USBメモリ以外の記録媒体の使用の禁止 以下4月と同じ					
2 服務規律委員会					
委員会名	服務規律委員会				
構成員	所属内委員（13名）、外部委員（5名 役職等：学校評議員 P T A会長）				
3 年間を通しての計画の達成状況 以下次ページ					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

イ	カ	キ	ク						
---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 少し不十分	<input type="checkbox"/> できなかった
---------------------------	--------------------------------	--------------------------------	---------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input type="radio"/> できた	<input type="checkbox"/> 概ねできた	<input type="checkbox"/> 不十分だった	<input type="checkbox"/> 実施していない
---------------------------	--------------------------------	---------------------------------	----------------------------------

資料添付 有 ・ 無

<実施結果報告書作成に関して>

※ 様式枠の大きさは適宜変更してください。

※ 各所属で作成された資料等があれば、県内の学校への取組事例紹介等に活用するため、積極的に添付してください。また、添付資料を含め電子メールで送信されても結構です。

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。